

## 令和5年度 一般選抜 工学部電気電子工学科

○募集人員の変更

前期日程：(変更前) 73名 → (変更後) 65名

後期日程：(変更前) 18名 → (変更後) 26名

## 令和5年度 「志」特別選抜 工学部市民工学科

### ○提出書類の変更

「学修計画書：所定の様式で志願者本人が作成したもの（第1次選抜合格者のみ）」を削除

### ○試験区分の変更

#### ■最終選抜

##### 【変更後】

最終選抜では、「小論文」「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。「小論文」では、市民工学に関する問題について、自身の考えを論述させ、志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。「面接・口頭試問」では、志望理由書、活動報告書を参考に、志望理由やこれまでの活動内容について質疑応答を行い、志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価するとともに、市民工学科への入学適性について判断します。

試験区分	小論文	面接・口頭試問	第1次選抜の結果	合計
配点	300点	300点	600点	1,200点

試験区分	実施時間
小論文	9:30-10:30
面接・口頭試問	13:00-16:00

※実施時間及び実施場所等の詳細については、第1次選抜合格者に送付する受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
小論文	市民工学に関する諸問題について課題を提示し論述させ、志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い、面接では提出書類を参考に、志望理由やこれまでの活動について質疑応答を行い、口頭試問では小論文の解答内容および学びたい専門分野について工学的な内容を含む質疑応答を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

##### 【変更前】

第1次選抜合格者に対して、~~学修計画書の提出を求め、最終選抜を行います。~~最終選抜では、「小論文」「~~演習~~」「面接・口頭試問」を課し、第1次選抜及び最終選抜の結果を総合して最終合格者を決定します。

「小論文」では、市民工学に関する問題について、自身の考えを論述させ、志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。「演習」では、市民工学の力学系基礎科目又は数理統計及び数理最適化を中心とした土木計画系基礎科目について、ミニ講義を行った後、演習問題を提示して解答させます。そこから志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。「面接・口頭試問」では、志望理由書、活動報告書、学修計画書を参考に、志望理由やこれまでの活動内容について質疑応答を行い、志願者の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価するとともに、市民工学科への入学適性について判断します。

試験区分	小論文	演習	面接・口頭試問	第1次選抜の結果	合計
配点	200点	200点	200点	600点	1,200点

試験区分	実施時間
小論文	9:30-10:30
演習	11:10-12:30
面接・口頭試問	13:50-15:30

※実施時間及び実施場所等の詳細については、第1次選抜合格者に送付する受験者心得で確認してください。

選抜方法	選抜内容
小論文	市民工学に関する諸問題について課題を提示し論述させ、志願者の「知識・技能」「思考力・表現力」を評価します。
演習	大学入学後に学ぶ力学系基礎科目又は数理統計を中心とした土木計画基礎科目について、ミニ講義を行った後課題を提示し、解答させ「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。
面接・口頭試問	面接・口頭試問は個人単位で行い、面接では提出書類を参考に、志望理由やこれまでの活動について質疑応答を行い、口頭試問では学びたい専門分野について工学的な内容を含む質疑応答を行い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

## 令和5年度 「志」特別選抜 工学部応用化学科

○試験区分及び選考方法の変更

### ■最終選抜

#### 【変更後】

試験区分	化学演習	口頭試問	第1次選抜の結果	合計
配点	200点	100点	100点	400点

試験区分	実施時間
化学演習	10:00-11:30
口頭試問	13:00-16:00

選抜方法	選抜内容
化学演習	英文等で書かれた化学に関する資料を読み、問題に解答していただき、「知識・技能」「思考力・表現力」「主体性」を評価します。
口頭試問	口頭試問は個人単位で行います。筆記試験内容および学びたい専門分野に関する工学的な内容について口頭試問を行います。この口頭試問には、第1次選抜のレポート・総合問題の内容を含むこともあります。これらを通して「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

#### 【変更前】

試験区分	化学演習→発表	口頭試問	第1次選抜の結果	合計
配点	200点	100点	100点	400点

試験区分	実施時間
化学演習→発表資料作成	9:30-11:30
化学演習発表および口頭試問	13:00-16:00

選抜方法	選抜内容
化学演習→発表資料作成	英文等で書かれた化学に関する資料を読み、問題に解答し、また関連する内容について日本語による口頭発表用資料作成をしていただきます。これらを通して「知識・技能」「思考力・表現力」「主体性」を評価します。
口頭試問	口頭試問は個人単位で行います。作成した資料を基に発表していただき、筆記試験内容および学びたい専門分野に関する工学的な内容について口頭試問を行います。この口頭試問には、第1次選抜のレポート・総合問題の内容を含むこともあります。これらを通して「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。

※令和3年度から令和4年度への変更箇所については、「令和4年度（令和3年度実施）神戸大学入学者選抜における入試方法等の変更について」で確認してください。

## 令和5年度 「志」特別選抜 工学部情報知能工学科

### ○出願要件の変更

#### 【変更後】

##### ■出願要件

次のすべてを満たす者

(1) 工学部情報知能工学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学することを確約する者

(2) 数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（理数科にあっては、理数数学Ⅰ・理数数学Ⅱ・理数数学特論）及び理科の物理・化学（理数科にあっては、理数物理・理数化学）を履修し単位を修得しているか、又は入学時まで単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は、個別に判断します。

(3) 調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が4.0以上であり、かつ数学と理科それぞれの学習成績の状況（旧評定平均値）が4.5以上の者

(4) 次のいずれかを満たす者

1. 特筆すべき資質・能力を有することを示す書類を提出できる者
2. 調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が4.5以上の者

#### 【変更前】

##### ■出願要件

次のすべてを満たす者

(1) 工学部情報知能工学科での勉学を強く希望し、合格した場合は入学することを確約する者

(2) 数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（理数科にあっては、理数数学Ⅰ・理数数学Ⅱ・理数数学特論）及び理科の物理・化学（理数科にあっては、理数物理・理数化学）を履修し単位を修得しているか、又は入学時まで単位を修得見込みの者

※上記科目を高等学校等で履修できない場合は、個別に判断します。

(3) 調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が4.0以上であり、かつ数学と理科それぞれの学習成績の状況（旧評定平均値）が4.5以上の者

(4) 次のいずれかを満たす者

1. 国際数学オリンピックに日本代表として出場した者
2. 国際物理オリンピックに日本代表として出場した者
3. 国際情報オリンピックに日本代表として出場した者
4. 上記1～3において出場することが内定していた者
5. 実用英語技能検定準1級以上を取得した者（平成30年4月1日以降受験分の取得に限る）
6. TOEIC L&R あるいは TOEIC L&R IP テストで750点以上を取得した者（平成30年4月1日以降受験分のスコアに限る）  
なお、TOEIC L&R IP テスト(オンライン)は認めません。
7. TOEFL iBT あるいは TOEFL iBT Special Home Edition で80点以上を取得した者(出願時において有効期限内のスコアに限る)  
なお、TOEFL ITP は認めません。
8. 調査書における全体の学習成績の状況（旧評定平均値）が4.5以上の者